

平成28年8月10日

愛知県上海産業情報センター  
余語 克昭

## 上海エコ事情 ～エコカーを取り巻く現状～

－「上海では、自動車のナンバープレートが150万円もするんですよ」－  
中国・上海に赴任して、一番初めに日本との違いに驚いたのが、この会話でした。これは、自動車の絶対数を制限して渋滞を解消することと、エコカーの普及を目的とした施策が、結果としてナンバープレートを高額商品にしたというお話でした。

中国というと、大気汚染に始まり、様々な環境汚染のイメージを抱く方も多かろうと思います。今回は、上海におけるエコカーを取り巻く状況や自動車への規制についてレポートいたします。

### 1 エコカーを取り巻く概況

中国汽車工業協会の発表によると、2015年の中国の自動車販売数は、前年比4.7%増の約2,460万台、生産数は同3.3%増の約2,450万台とのことで、景気減速や株式市場の混乱などにより伸び悩みが見受けられました。

そのような状況の中で、新エネルギー車（電気自動車（EV）及びプラグイン式ハイブリッド車（PHV））の販売数は前年比4.4倍の33万1,092台、生産数は同4.3倍の34万471台と、大幅な伸びを示しました（いずれも速報値）。

中国政府が2012年に発表した「省エネルギー・新エネルギー自動車産業発展計画（2012～2020年）」では、2020年までにEV及びPHVの生産台数を200万台に到達させ、累積生産販売台数を500万台とする数値目標が提起されています。2015年末現在のエコカー保有台数が約58万台とのことです。2020年の目標数値に向かって、今後、さらにエコカーの製造・販売が強化されていくこととなります。

新エネルギー車に対しては、優遇策を通じた普及推進がなされており、EV、PHV、燃料電池車（FCV）を対象に、2013年から購入補助制度が導入されています。一例として、上海市では、2016年8月現在、電動走行距離

が50km以上のPHVや同100km以上150km未満のEVを購入する場合は1万元、同150km以上のEVを購入する場合は3万元が補助されています。

さらに、PHVについては、小排気量（1.6L以下）・100km燃費が5.9L以下・燃料タンク容量が40L以下の3条件を満たす車の場合は、追加して1.4万元の補助が受けられます。（ただし、戸籍（上海・非上海）・外国人の別により条件制限が別途あります。）

政府は、2020年にエコカー補助金を終了させる方針を示しており、中国エコカー市場に参入している自動車メーカー各社は、補助金がある今のうちに研究開発や製造能力の強化を図ることで製品のコスト低減と技術改良に取り組むべく、現在、非常に活発に設備投資を進めています。

昨今のニュースでは、中国エコカー最大手のBYDを始め、北京汽車や奇瑞汽車、吉利汽車など、多くの完成車メーカーや部品メーカーが中国各地に新たな工場を計画・稼働させるとの報道が、非常に頻繁に見受けられます。

## 2 環境の観点から見た従来車への規制

先にエコカー（新エネルギー車）への優遇について記述しましたが、次に、従来の自動車に対する規制の例について、ご紹介します。

上海市では、1994年から、競売（オークション）によるナンバープレートの交付制度が導入されています。この競売（オークション）による交付制度は、導入の際の本来の主目的は交通渋滞回避であったとのことですが、近年は、排気ガスによる環境悪化の抑制という目的が加わっています。（新エネルギー車のナンバープレートは適用を受けず、無料で交付されています。）

以下の表は、上海市のナンバープレートオークションにおける、交付数と最低金額、応募人数等を表しています。

2016上海车牌拍卖价格					
时间	投放数量	最低成交价(元)	平均成交价(元)	最低成交价截止时间	投标人数
2016.5	11598	85000	85058	11:29:58第696位	277889
2016.6	11546	84400	84483	11:29:54第292位	275438
2016.3	8310	83100	83148	11:29:57第1040	221109
2016.4	11829	85100	85127	11:29:59第1396	256897
2016.1	9409	82200	82352	11:29:46第491位	187533
2016.2	8363	83200	83244	11:29:58第224位	196470

この表によれば、冒頭の会話のあった2016年3月の上海市における個人用従来自動車のナンバープレートの交付数は8,310枚であり、それに対し221,109件の応募がありました。従って、なんと当選率約3.8%弱の狭き門となり、その平均落札金額は83,148元でした。当時の為替レートでおおよそ1元=18円として換算すると、ナンバープレート1枚が約150万円するという計算になります。つまり、上海では、100人に4人弱しか当たらないオークションで運よく当選したとしても、車両購入費の他にもう1台車を買えるほどの費用を支払って、ようやくナンバープレートの付いたマイカーを走らせることができるということになります。

上海市に隣接した江蘇省や浙江省ナンバーのような市外地ナンバーであれば比較的入手が容易ですが、上海市は、交通量制限のために市外地ナンバー車の一部主要道路で渋滞時（毎日午前7時から10時、午後3時から8時）の走行を禁止しており、やはり上海ナンバーの取得希望が多くなっているようです。実際に、該当時間帯に規制対象の高架道路等を走行していると、交通警察に取り締まられている市外地ナンバー車を頻繁に見かけます。

上海市以外でも、2010年以降、北京や天津、広州、杭州や深センなどの大都市で、同様にナンバープレートの交付数に制限を設けられてきています。

また、大気汚染改善のための取り組みとして、上海市でも、様々な規制が厳格化されてきています。一例として、今年4月、上海市交通委員会は、欧州の排ガス基準・ユーロ1、2、3にそれぞれ相当する国1、国2、国3の対応車両の通行制限を厳格化することを明らかにしました。上海市の全車両のうち、国1、国2のガソリン車と国3対応のディーゼルトラックの台数は14%を占め、自動車による大気汚染の主要原因となっており、これらの旧型車両を郊外へ締め出すことで、大気汚染の改善を図る狙いがあるそうで、2016年内に実施される見通しとのことです。

### 3 環境に対する姿勢の変化

一方、同じ4月には、2020年までに、上海市内のエコカー向け充電スタンドを現在の約10倍となる21万基以上とする方針も掲げられました。エコカー約26万台分の充電を賄える計算となるとのことで、汚染改善に向け、インフラを整えることで、エコカーの普及を後押しする方針が示されています。

2015年1月1日から施行された新環境保護法では、環境保護を基本的な国策とし、制度の整備拡充、行政責任の強化、罰則の強化、情報公開の強化、環境公益訴訟の認可といった方向性・方針が打ち出されています。

自動車の例のみならず、深刻な大気汚染を契機に、中国政府は環境対策強化の方向に大きく舵を切っており、この環境に対する姿勢の変化は、高度成長を終えて持続可能な安定成長への移行を目指す中国のニューノーマル＝新常態の一つの現れと言えるかと思えます。

企業にとっては、環境保護に向けたコスト増や、違反企業への罰則といったリスクが高まってきていますが、逆に、環境ビジネスにおいてはビジネスチャンスが拡大するなど、環境問題は、今後の中国での事業展開を左右する非常に大きな要素となってきています。

上海産業情報センターでは、今後も引き続き中国の現地情報について提供していきたいと思えます。

本資料は、参考資料として情報提供を目的に作成したものです。

上海産業情報センターは資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力していますが、その正確性を保証するものではありません。本情報の採否は読者の判断で行ってください。

また、万一不利益を被る事態が生じても当センター及び愛知県等は責任を負うことができませんのでご了承ください。